



Yokohama Arts Foundation

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

2022年12月4日

28回目を迎えるコンテンポラリーダンスの祭典「ヨコハマダンスコレクション」

コンペティション受賞振付家決定！

世界的な振付コンクールの日本プラットフォームとして1996年にはじまったコンペティションには、社会と他者に向き合い、身体と表現に向き合う振付家500組以上がファイナリストとして参加し、国内外で多彩な活動を繰り広げています。振付家やダンサー等が構成、演出、技術のみならず新たな表現の可能性に挑む場であり、創造性に基づく対話・交流のプラットフォームです。

今回は2022年4月8日から6月10日まで公募を行い、14の国・地域から計121組の応募がありました。

映像・書類審査を経て決定した18組(コンペティションⅠ：8組、コンペティションⅡ：10名)が、12月1日～4日の上演審査にのぞみ、以下の通り各賞の受賞者を決定いたしました。



【コンペティション I】

■ 審査員賞

リュウ・イリン『... and, or...』

■ 若手振付家のための在日フランス大使館賞・ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーペル賞

小野彩加／中澤陽『バランス』

■ MASDANZA 賞

ファイルル・ザヒド〈LASALLE Dance〉(シンガポール)『So-PAN』

■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞

池上楓子／中村たから『Puppenhaus』

四戸賢治『ORGARHYTHM』

■ 奨励賞

四戸賢治『ORGARHYTHM』

小倉笑『M2』

■

□なお、城崎国際アートセンター（KIAC）賞は下記の候補者との対話を経て、2022年12月下旬に公式ウェブサイトで発表します。

（候補者）

小野彩加／中澤陽『バランス』

【コンペティション II 新人振付家部門】

■ 最優秀新人賞

宮 悠介 『かたち』

■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞

安永ひより 『あぶくの音』

■ 奨励賞

斎藤健一 『回転プロダクション』

■ ベストダンサー賞

三輪麗水 『終い方』

【コンペティション I 審査員】

梅田宏明（振付家、ダンサー、ビジュアルアーティスト、横浜赤レンガ倉庫 1 号館振付家）

岡見さえ（舞踊評論家、共立女子大学文芸学部准教授）

北村明子（振付家、ダンサー、信州大学人文学部教授）

近藤良平（コンドルズ主宰・振付家・ダンサー・彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督）

多田淳之介（演出家、東京デスロック主宰）

浜野文雄（新書館「ダンスマガジン」編集委員）

サンソン・シルヴァン（在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本 文化担当官）

シモン・ホレンベルジェ（アンスティチュ・フランセ横浜 館長）

カトリーヌ・ティケニス（フランス国立ダンスセンター（CND）総合ディレクター）

セルジュ・ローラン（ヴァン クリーフ&アーペル ダンス&文化プログラム マネージャー）

※MASDANZA 賞、城崎国際アートセンター（KIAC）賞及びアーキタンツ・アーティスト・サポート賞の審査員は、各団体の担当者が務めました。

【コンペティションⅡ 審査員】

ヴィヴィアン佐藤（美術家）

加藤弓奈（急な坂スタジオ ディレクター）

北尾 亘（Baobab 主宰・振付家・ダンサー）

浜野文雄（新書館「ダンスマガジン」編集委員）

※アーキタンツ・アーティスト・サポート賞の審査員は、団体の担当者が務めました。